

**「沖縄の海」と「沖縄の伝統楽器」の未来を守るプロジェクトに参加
生活造形学科 前崎ゼミの学生達が、「白化サンゴ※1」を使った
世界に一台の「そこにあるべきではない三線」※2をデザイン**

～沖縄出身アーティスト「HY」がスペシャルサポーターに就任～

■クラウドファンディング 2024年8月1日(木)10時～9月30日(月)23時

<https://readyfor.jp/projects/wanohibiki-sanshin/>

京都女子大学（所在：京都市東山区/学長：竹安 栄子）は、家政学部 生活造形学科 前崎信也ゼミの学生達が「白化サンゴ×漆芸による世界に一台の三線制作プロジェクト」（主催：和の響き@KOGEI Next）へ参画し、三線のデザインを担当しますのでお知らせします。また、学生達が運営するプロジェクトのクラウドファンディングを2024年8月1日(木)10時～9月30日(月)23時まで実施します。

■沖縄の文化や自然、伝統工芸の課題を発信するため、そこにあるべきではない「白化サンゴ」で「三線」を制作



白化したサンゴ礁 提供：日本サンゴ礁学会

沖縄の海ではサンゴ礁生態系が危機にあります。その原因は地球温暖化による海温上昇や、陸域からの赤土や栄養塩の流入など人為起源によるものです。また沖縄の伝統楽器「三線」は、演奏人口の減少から生じる職人の高齢化や杣材となる黒木(くるち)の不足など、さまざまな課題を抱えています。沖縄文化の根幹ともいえる「沖縄の海」と「沖縄の伝統楽器」の現状を多くの人に知っていただきたい。そのため、このプロジェクトでは、“そこにあるべきではない”白化サンゴで三線を制作、海洋環境の保全や沖縄文化・日本の伝統工芸の継承を発信します。

■学生達が、沖縄の三線職人や輪島の漆芸職人と共に、世界に一台の三線制作に挑む



学生がデザインしたメインビジュアル

三線制作では、沖縄の三線職人と輪島の漆芸職人がタッグを組み、白化サンゴの粉末を塗料として使用します。前崎ゼミの学生達は、三線のデザイン、クラウドファンディングの運営、返礼品のデザイン、SNSでの広報などでプロジェクトに参画します。

三線のデザインは、プロジェクトの意義を伝えるものになるよう、スペシャルサポーターのHY、三線職人の仲嶺幹氏、輪島の漆芸集団「彦十蔭絵」若宮隆志氏と検討を進めています。

■スペシャルサポーターにHYが就任！主催の音楽フェス「HY SKY Fes 2025&前夜祭」にて、初お披露目

完成した三線は、HYにより2025年3月14日に沖縄で開催される「HY SKY Fes 2025 & 前夜祭」の前夜祭で初披露されます。また、プロジェクトのテーマソングには、HYが沖縄のゴミ問題をテーマに歌った「そこにあるべきではないもの」が決定しています。

【学生のコメント】生活造形学科4回生 遠矢愛実（トオヤマナミ）/難波夏梨（ナンバカリン）

海洋環境や日本の伝統工芸の継承などの課題が露呈させる現代だからこそ、私たち京都女子大学の学生が本プロジェクトに携われることを大変光栄に思います。このプロジェクトを成功に導き、独自の響きをもつ和楽器の魅力を世界へ、そして「そこにあるべきではないもの」が「そこにはない」未来が訪れるように頑張ります！

※1) 本プロジェクト内では、サンゴ植付けの種苗育成のために陸上養殖している過程で白化し、回復が見込めなくなったサンゴ骨格のことを「白化サンゴ」と記載しています。

※2) 全国邦楽器組合連合会・沖縄県三線製作事業協同組合調べ

【報道関係のお問い合わせ先】

京都女子大学広報デスク（プランニング・ボート内）福岡・井上 TEL：06-4391-7156

京都女子大学 入試広報課 岡橋・竹縄 TEL：075-531-7054

京都女子大学HP <https://www.kyoto-wu.ac.jp/>

クラウドファンディング 概要

■プロジェクト名	世界に一台の「そこにあるべきではない三線」をつくりたい		
■実施期間	2024年8月1日（木）10:00～9月30日（月）23:00		
■内容	海洋環境、沖縄の文化や自然、日本の伝統工芸が抱える課題を広く発信するため、沖縄の海にとって「そこにあるべきではない」白化サンゴ※1を原材料として、世界に一台の「そこにあるべきではない三線」※2を制作。		
■受付窓口	クラウドファンディングサイト「READYFOR」 https://readyfor.jp/projects/wanohibiki-sanshin/		
■目標金額	500万円		
■資金使途	三線の制作費用、お披露目会の開催費用、クラウドファンディングの諸経費		
■スケジュール	2024年	5月	プロジェクト発足
		7月	世界に一台の「そこにあるべきではない三線」の制作開始
		8月 1日	クラウドファンディング開始
		9月 30日	クラウドファンディング終了
		10月	リターン品の発送開始
	2025年	2月	世界に一台の「そこにあるべきではない三線」完成
		3月 14日	HY SKY Fes 2025 & 前夜祭で初お披露目
		3月 末	全リターン品の発送終了予定
		4月～6月	リアルお披露目会の実施（東京都内・関西（京都 or 大阪））

本プロジェクトは、支援総額が期日までに目標金額に届かなかった場合でも、目標金額分を自己負担するなどして、必ず上記の実施内容の通り実行いたします。

■リターン品	<ul style="list-style-type: none">・会員証（デジタル）・PVにお名前掲載（希望制）・三線NFTにお名前掲載（希望制） ※三線内部にNFTと紐づくNFCタグを仕込むことで半永久的に保存され、スマートフォンをかざすとNFTの情報（本プロジェクトの概要、制作者、ご協力者名等）が表示されます。・オリジナルTシャツ（サイズ：S・M・L・XL）・リアル三線お披露目会ご招待（東京都内・関西（京都 or 大阪））・サンゴ植付応援（2024年10～12月の間に植付けし、半年後・1年後の成長の様子をご覧ください）・野口寛斉(KOGEI Next 画家)による白化サンゴを使用した湯呑み・彦十蒔絵による白化サンゴを使用した輪島漆器・「HY SKY Fes 2025 & 前夜祭」前夜祭ご招待 ※支援金額によって上記リターン品を組み合わせたコースを設定しています。
--------	--

※1) 本プロジェクト内では、サンゴ植付けの種苗育成のために陸上養殖している過程で白化し、回復が見込めなくなったサンゴ骨格のことを「白化サンゴ」と記載しています。

※2) 全国邦楽器組合連合会・沖縄県三線製作事業協同組合調べ

プロジェクト参画メンバー

- 主 催 和の響き@KOGEI Next 実行委員会
KOGEI Next(共創プロジェクト/クロステック・マネジメント)
和の響き(電通ミュージック・アンド・エンタテインメント)
- 制 作 (三線制作) 沖縄県三線製作事業協同組合 事務局長 仲嶺幹 (なかみね みき)
(装飾担当) 彦十蒔絵 代表 若宮隆志 (わかみや たかし)
(デザイン提案) 京都女子大学 家政学部生活造形学科 前崎信也ゼミ
(指導) 京都女子大学 家政学部生活造形学科 教授 前崎信也
京都女子大学 家政学部生活造形学科 講師 二瓶晃
- 協 力 日本サンゴ礁学会
沖電開発株式会社
全国邦楽器組合連合会

■スペシャルサポーター H Y



※プロジェクトのテーマソング「そこにあるべきではないもの」

【HYからのコメント】

世界に一つだけの三線プロジェクト。
この三線にはこれからの素敵な未来への願いが詰まっています。
このような形で表現し、形にして皆様に伝える事が出来て嬉しいです。
スペシャルサポーターとして発信していきます！—HY—

■学生サポーター 京都女子大学 家政学部生活造形学科 前崎信也ゼミ

《参考》「KOGEI Next」について

100年後、現代の工芸が古美術品となった時、令和の空気を伝えられる作品とはどのような作品でしょうか？KOGEI Next は、工芸作家とこれまで関わりの薄かった現代社会が重なることで生まれる作品や活動、自然環境や社会課題との関わりを通じて、モノとしてだけではなく新たな価値を持った工芸の次のすがたを実現させる運動です。

主 催 : KANEGAE、株式会社クロステック・マネジメント

協 賛 : 株式会社ゴールドウイン

パートナー : 京都芸術大学、京都女子大学、一般社団法人アートハブ・アソシエーション、ArtSticker、ONBEAT、画箋堂、計数技研、Think & Craft、startbahn、DESIGNART TOKYO、和の響き

アドバイザー : 山下裕二 (美術史家、美術評論家)

広瀬麻美 (浅野研究所・代表取締役)

前崎信也 (京都女子大学・教授、工芸史家)

URL : <https://koge-next.jp/> YouTube : <https://www.youtube.com/@kogeinext8128>

Instagram : <https://www.instagram.com/kogeinext/>